## ふるさと わがまち わが地域

松本重太郎のふるさと古間地区

城島

古間東 世帯数126世帯 人口 288人 古間西 世帯数129世帯 人口 296人 (平成28年9月末) 前回(27/9末)より

古間東 ▲6世帯

古間西 ▲2世帯 ▲4人

古間東 世帯数 151世帯 人口 古間西 世帯数 136世帯 人口

664人

573人 (昭和30年10月1日)

古間区(更新4)281011

丹後町間人の古間区は、渋沢栄一氏と肩を並べる明治財界の巨頭で、城山三郎著の「気張る男」のモデルにもなった、松本重太郎翁生誕の地です。古間区は、以前は本間人(ほんたいざ)と呼ばれ間人の中でも最も古くからある地域です。現在は少子高齢化のなか、地元「古間東」「古間西」両地区長を先頭に区民一丸となって古間区全体の活性化に取り組んでいます。





間人小学校地に石像が建立

平成26年10月5日(日)松本重太郎の生誕 祭と記念台座の除幕式が執り行われました。



松本重太郎顕彰碑除幕式 が執り行われました。



生家跡地の碑(現在は駐車場)



間人皇后が足を洗ったとされる井戸



「乳だし観音像」(正式名平和観音像) 母親の愛情を示す観音像は日本でここ だけです。



橋塚稲荷神社

地元では、信仰厚き人がご利益 により苦難を乗り切ったとの話か ら、お参りする方が多くいます。



二代目

水天宫



夢枕より石工 田中作治制作



昭和11年から2年の歳月をかけて建立された弁財天。真意のほどは定かであり ませんが、カップルで来るとヤキモチをやいて別れさせると言われている。 カップル の方は要注意。望むカップルの方はどうぞ。願いの成果は皆さんで確認を。



周りに散策の小道が整備されています。



昔々は、石像を伝って水が流れてい ました。下には池があったそうです。



三嶋神社・水天宮の鳥居

平成24年度に約100年 ぶりに土台を修理、補強し た鳥居。



三嶋神社



恵比須神

ご神体は、恥ずかしがり屋なので姿 は写せませんでした。





厳島神社奥に神輿がしずかに眠っています。かつては水天宮祭りが毎年4月24日 に行われていましたが、人が集まる港祭の日に子ども屋台を出し、祭礼も同時に行っ ていました。平成25年より従来の4月に復活し執り行われています。

## 「バッタリ」(岩の名称)の波飛沫(なみしぶき)



ばったり Hattari(アイヌ語でハッタリ・渕)水が深く淀んでいる処を指す。(引用上谷正男著「間人と宇川路の古地名をアイヌ語で歩く」同朋舎1996)





岩崖の容姿が『鳶の嘴』に似ていたので、「とびの くちばし」と名付けられました。



しいろ Sir (アイヌ語できり岸、またはしらるかう・岩石重畳/岬の先端の大岩) あるいは「視広」という日本語で、視野のひらけている処、という意味かもしれない。

## 海岸地形



冬の日本海 のりを摘んでいます。









天正年間(1573) 荒川武蔵守知時の城址で、標高21mの小島で、周囲がおよそ4kmの島全体が自然公園になっています。また岩場が多く、絶好の釣り場としても有名です。「京都自然二百選丹後の海岸地形(城島)」

